

# 2020 年度北里大学薬友会定期総会資料

## 【資料内容】

### (議 案)

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| 1) 2019 年度事業報告           | P.1～11   |
| 2) 2019 年度決算報告           | P.12～14  |
| 3) 2019 年度会計監査報告         | P. 15    |
| 4) 2020 年度事業計画案          | P.16～19  |
| 5) 2020 年度予算案            | P.20～21  |
| 6) 薬友会選挙管理委員の選出について      | P.22     |
| 7) 2020 年度薬友会役員・代議員等交代の件 | P. 23～26 |

## 【添付資料】

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 北里大学薬友会規約          | P.27～30 |
| 北里大学薬友会選挙管理委員会運営規定 | P.31    |

- ・各報告に関するコメントは、黒枠内に記載致しました。
- ・紙上審査結果は、同封の「定期総会審議結果報告書」又は「フォームメーカー」のいずれかにて、6月19日(金)必着にてご報告下さいますようお願い申し上げます。

## 【議案1】2019年度北里大学薬友会事業報告

### 1. 同期会・懇親会の開催

- ① 2009年3月卒業生(卒後10年目)同期会  
日 時：2019年10月26日(土)〔ホームカミングデイ開催後〕  
場 所：北里柴三郎記念館 2F「北里白金サロン」  
参加者：13名
- ② 1999年3月卒業生(卒後20年目)同期会  
日 時：2019年10月26日(土)〔ホームカミングデイ開催後〕  
場 所：白金キャンパス アネックス棟 BF1 「職員食堂」  
参加者：61名
- ③ 薬友会白金会  
日 時：2019年11月20日(水)  
場 所：北里柴三郎記念館 2F「北里白金サロン」  
参加者：44名

・学会開催地での懇親会は、参加者が少なく費用対効果が悪いため当面の間開催中止とした。  
・③の薬友会白金会は、日頃白金キャンパス内の法人本部・大学研究室・北里研究所病院・東洋医学研究所・感染防御科学府等に勤めているにも関わらず、会員相互の繋がりが弱く一同に会する機会がないことから、会員相互の繋がり・親睦を深めて頂く目的で薬友会が主体となり、昨年発足した組織である。

### 2. ホームカミングデイの開催

- ① 日 時：2019年10月26日(土)  
場 所：北里柴三郎記念館 2F「北里白金サロン」
- ② 参加者：34名

### 3. 会報の発行

- ① 第76号      2019年8月      部数：2,500(会費納入者にのみ送付)
- ② 第77号      2020年3月      部数：14,500

### 4. 同期会への援助（通信費）

5件

## 5. 薬友会情報センターの運営

- ① 会員データの更新：随時更新
- ② DMラベルの打ち出し：15件

## 6. 生涯学習セミナー(薬学部主催・薬友会共催生涯学習セミナー)

### 【前期】

#### 【テーマ】 薬剤師が身につけたい病態と治療法の最前線

第1回テーマ「肝疾患に対する治療の最前線」 2019年5月25日(土)

講義1：「ウイルス性肝炎の基礎知識と薬剤師の関わり」

講師：太田 智博 先生(北里大学病院 薬剤部)

講義2：「門脈圧亢進症治療の新しい潮流」

講師：日高 央 先生(北里大学医学部消化器内科学 准教授)

第2回テーマ「最新の糖尿病治療について」 2019年6月15日(土)

講義1：「糖尿病治療薬の基礎知識について」

講師：井上 岳 先生(北里研究所病院 薬剤部)

講義2：「科学的根拠に基づく食事療法を求めて」

講師：山田 悟 先生(北里研究所病院 内分泌・代謝内科部長、糖尿病センター長)

第3回テーマ「造血器腫瘍に対する治療の最前線」 2019年6月22日(土)

講義1：「造血器腫瘍に対する治療の最近の話題 ～多発性骨髄腫を中心に～」

講師：堀米 佑一 先生(北里大学医学部血液内科学 助教)

講義2：「がん医療における薬学的介入と薬剤師の役割 (造血器腫瘍を中心に)」

講師：宮島 律子 先生(北里大学病院 薬剤部主任)

### 【夏期】

第1回テーマ「薬剤師のための臨床研究入門～リサーチ・クエスチョンを研究につなげる～」 2019年7月27日(土)

講義1：「薬局での疑問をリサーチ・クエスチョンに」

講義2：「リサーチ・クエスチョンを研究計画に」

講師：岡田 浩 先生(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野・特定講師)

第2回テーマ「微生物をはじめとする天然資源から医薬品への創薬」

2019年8月3日(土)

講義1：「小さな微生物の大きな魅力」

講師：供田 洋 先生(北里大学薬学部 教授)

講義 2:「有機化学の力で天然有機化合物から医薬品へ」

講師:長光 亨 先生(北里大学薬学部 教授)

【中期】テーマ:薬剤師が身につけたい病態知識と服薬指導の実践

第1回テーマ「医師から学ぶ疾患と治療」 2019年9月7日(土)

講義 1:「乳がん治療の最前線」

講師:五月女 恵一 先生(北里大学北里研究所病院 乳腺甲状腺外科副部長)

講義 2:「健康寿命を延ばすために ～ロコモティブシンドロームについて～」

講師:金子 博徳 先生(北里大学北里研究所病院 副院長 整形外科部長)

第2回テーマ「高齢者における医薬品の適正使用」 2019年10月5日(土)

講義 1:「高齢者における薬物動態と医薬品使用時の留意点ー腎機能低下時の薬物投与と薬物相互作用を中心にー」

講師:大野 能之 先生(東京大学医学部附属病院 薬剤部)

講義 2:「高齢者の医薬品適正使用の指針から考える～開局薬剤師の多職種連携のポリファーマシーへの取り組み～」

講師:大木 一正 先生(クリーン薬局)

第3回テーマ「漢方薬の理解と服薬指導のポイント」 2019年10月19日(土)

講義 1:「漢方医療における服薬指導のポイント」

講師:高際 麻奈未 先生(北里大学東洋医学総合研究所 薬剤部)

講義 2:「歴史から漢方薬を理解する」

講師:緒方 千秋 先生(北里大学東洋医学総合研究所 広報・医療相談室)

【後期】

第1回テーマ「RMPの基礎と実践～RMPを活用しよう」 2020年1月18日(土)

講義 1:「医薬品情報を臨床現場でどう扱うか～RMP見たことありますか?～」

講師:若林 進 先生(杏林大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤科長補佐)

講義 2:「RMPの医療現場への効果的な浸透を目指して」

講師:成川 衛 先生(北里大学薬学部 教授)

第2回テーマ「アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)と薬剤師の係わり」

2020年3月7日(土)

講義 1:「患者の意思決定を支援し、医療現場で生かすため」

講師:鈴木 央 先生(鈴木内科医院 院長)

講義 2:高橋 眞生 先生(カネマタ薬局 代表取締役)

⇒ 後期第 2 回(3/7)は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止

[受講者数]

	前 期	夏 期	中 期	後 期
第 1 回	169	36	117	83
第 2 回	255	102	142	中止
第 3 回	141	—	143	—

計 1,188 名

・ 2019 年度は後期第 2 回セミナーが新型コロナウイルス感染拡大防止対応で中止となり、計 9 回の開催であった。そのため、受講者数は昨年の 1,370 名に比し 182 名の減となった。

## 7. ホームページの維持管理

- 1) 今年度も定期総会案内・報告、懇親会案内・報告、生涯学習セミナー開催案内・参加申込み受付フォーム等を適宜掲載し、会員各位への情報提供を継続的に行うと共に、ホームページの維持管理を実施した。
- 2) 会員限定の「会員専用ページ」内の「薬友会報ライブラリー」には最新の薬友会報を Web 化して迅速に届けると共に、過去の会報もライブラリー化して何時でも閲覧可能としている。
- 3) 「薬友会 Web アルバム」には、薬友会主催のホームカミングデイ(HCD)や懇親会、定期総会等の写真を掲載している。
- 4) 会員限定の「会員専用ページ」では、各同期会や研究室、クラブ OB/OG の同窓会で、当事者のみが閲覧可能な「卒業生同期会のページ」、「研究室同窓会のページ」、「クラブ OB/OG 会ページ」を開設し、幹事の方に運営をお願いして参加が想定される会員の事前の情報共有や事後の画像を共有して頂き、有効に活用されている。
- 5) インターネットを介した受付返信メール「フォームメーカー」を導入し、会員からの意見投稿や同期会等の参加有無の問合せ、会員情報の変更の連絡等に有効に活用され、効率的な事務局業務が実施されている。
- 6) ベンダーに依頼しなくても薬友会事務局員の判断で情報掲載ができる「お知らせ」枠を活用し、生涯学習セミナー中止等、重要情報の迅速な伝達を実施している。

## 8. 薬友会奨学金制度の実施

2017 年の定期総会にて承認頂いた本件は、薬友会が本学薬学部(法人・北里研究所)に寄付する形式とし、「北里大学薬友会給付奨学金規定」に則り、薬学部給付候補者の募集・選定を依頼し、採択された学生 10 名に各々 10 万円を給付した。

## 9. 白金祭に対する援助

第 40 回北里大学白金祭に対する活動資金等の援助

日 時：2019 年 10 月 26 日(土)・27 日(日)

場 所：北里大学白金キャンパス

## 10. 準会員との交流

2019 年 9 月 20 日(金) 午後 7 時～8 時 プラチナタワー 12F 3125 大会議室

- ・白金祭実行委員会に対し薬友会からの援助として、援助金交付・パンフレットへの広告掲載、ホームカミングデイ参加者への白金祭模擬店利用チケットの購入を行った。
- ・準会員との交流では、白金祭実行委員の役員から白金祭の概要・予算等の説明を受け、実行委員経験理事から開催に伴う種々のアドバイスを行った。

## 11. 薬友会奨励賞授与

2020 年 3 月 23 日(月) グランドハイアット東京⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止対応で中止

受賞者：伊藤 大智、高森 太朗、角倉 弘太、長井 みなみ

副 賞：記念トロフィー + 名刺入れ

- ・卒業祝賀会は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止された。4 名の受賞者には賞状及び副賞を郵送した。

## 12. 中長期事業計画の検討

今年度は 2015 年から開始した「中長期事業計画」の最終年となるため、これまで検討した課題と成果について各班ごとに報告する。

### A 班(島村班長)：薬友会関連・理事会関連

#### 【A 班の課題】

薬友会の将来あるべき姿を検討し、会員のニーズに応えられる組織として継続運営できるように薬友会の組織や理事会の在り方、規程・規約の見直し等々を検討する。

- ・薬友会の規程・規約の改定（組織の現状にあったものに検討する）
- ・理事会運営の見直し（効果的、かつ効率的な運営の検討）

- ・理事の若手拡充（若者の意見を反映するために、若い世代の理事の登用）
- ・代議員の活用とその支援（代議員からの意見、要望の吸い上げ。事務局の積極的関与）
- ・会費の在り方検討（納入率向上へ向けての方策検討）

## 【5年間の活動報告】

### 1-1) 規程・規約の見直し（平成30年度総会で改正を承認済み。薬友会HPに掲載）

- ① 本会の事業に薬友会奨学金制度を加えるために「準会員への支援」の項を明記
- ② 会員種別を追加（他大学から大学院のみの修了者で希望があれば、入会可とした）
- ③ 理事長の廃止、名誉会長、顧問の条文を見直し（総会での承認に、理事会の推薦を追加）
- ④ 学部6年制への移行や学部再編から現在の組織にあったものに見直し
- ⑤ 理事会の推薦で顧問を選出し、2020年度の総会で承認
- ⑥ 改定薬友会規約は薬友会ホームページに掲載済み

### 1-2) 細則の改定、及び新規策定（いずれも理事会承認済み）

- ⑦ 北里大学薬友会会計細則（会員の年会費の納入の条文を追加）
- ⑧ 北里大学薬友会奨励賞選考基準（内規）（6年制移行、学科による人数等を変更）
- ⑨ 北里大学薬友会弔意規程（法人名等の文言整備）
- ⑩ 北里大学薬友会会務活動費運営規定（時給改定 900円→1000円）
- ⑪ 薬友会名誉会長、及び顧問に関する規程（新規策定：議決権無し、交通費支給）
- ⑫ 学校法人・北里研究所評議員に係る実務細則（新規策定：現会長を評議員とする）

### 2) 薬友会理事会運営の見直し

- ① 年1回～数回の土曜日開催（勤務や遠方で金曜日に参加できない理事の参加）
- ② 常任理事会の開催（理事会の効率的な運営、決議の迅速化のため）
- ③ Web会議の導入（ホームページ担当理事との連携で現在試行中）

### 3) 薬友会理事の若手拡充（理事会の若返り）

- ① 2018年度、2名の若い世代の理事就任（総会で承認済み）
- ② 現理事の2名が顧問に就任、理事枠の確保（更なる若手理事の獲得）

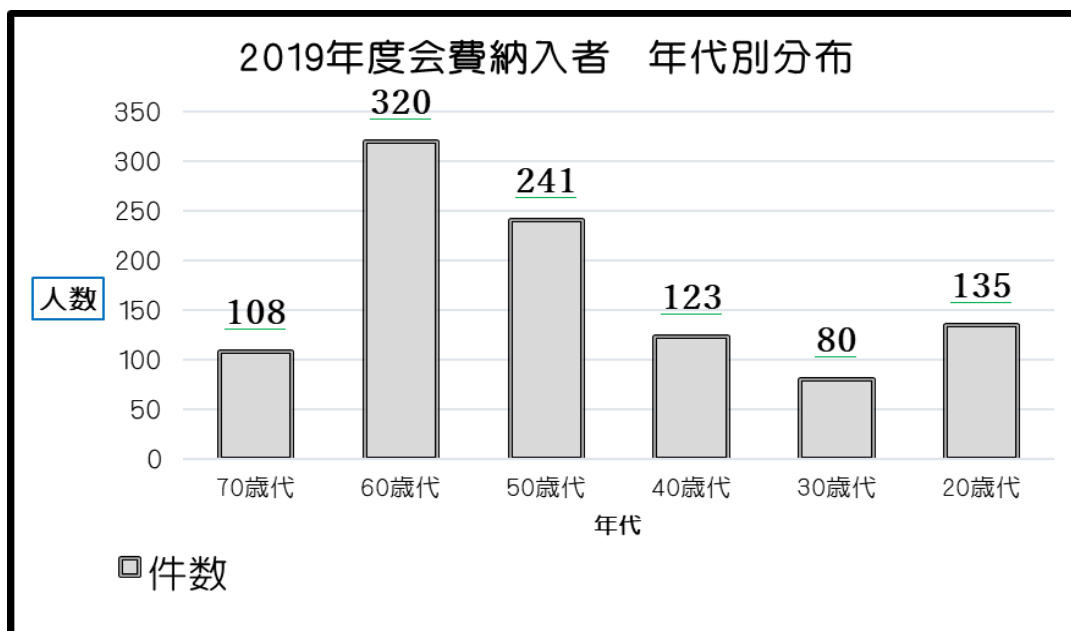
### 4) 薬友会代議員についての検討

- ① 代議員各位のメールアドレス・連絡先（携帯電話番号）の名簿作成（薬友会報、薬友会ホームページにて登録依頼）
- ② 代議員交代時に薬友会事務局からの援助（メーリングラベルの提供）

5) 薬友会会費納入に関する検討（次年度以降も継続検討課題とする）

2019年度年会費納入者 年代別分布表(10歳毎)

年代	70歳代	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	合計
件数	108	320	241	123	80	135	1007
割合(%)	10.72%	31.78%	23.93%	12.21%	7.94%	13.41%	100%



- ① 会費は50歳以上の会員に依存していることが分かる（70歳代は人数が少ない）
- ② 若い世代、及び大多数を占める女性会員の納入促進が今後の課題である
- ③ 今後の納入率アップのためには、薬友会への関心の喚起が必須である
- ④ 準会員へのアプローチ（現役世代から薬友会の存在を周知させる必要）

6) 薬友会への関心を喚起（次年度以降も継続課題とする）

- ① ホームcomingデイの積極的な参加要請とその活用
- ② 卒業後10年目、20年目同期会の設定、開催
- ③ 白金地区（薬学部、生命科学研、北研病院、東洋医学研等々）に勤務する会員の親睦会（呼称：薬友会白金会）の設定、開催

**B班(酒井/三浦班長)：研修・生涯教育関連**

【B班の課題】

薬友会の目的の一つである講演会・講習会等を開催し、会員の資質向上に寄与すべくその内容を企画・検討する。

- ・生涯学習セミナー「テーマ」の検討



- ・ 地方在住会員に対する生涯教育の場提供の検討
- ・ 定年退職者、転職者の調剤薬局就業希望者への対応
- ・ 薬友会費納入会員に対する特典の提供
- ・ セミナー参加費改定の検討

## 【5年間の活動報告】

### 1) セミナーテーマの検討

- ① セミナー参加者のアンケート資料を参考に、主催者(薬学部生涯学習委員会)に具申した。
- ② SNS活用の一環として、生涯学習センター事務局(薬友会事務局)の公式LINEアカウントを取得し、現在、セミナー開催案内や中止等の通知手段として活用しているが、今後、LINE参加者からテーマの募集も行う予定である。
- ③ 薬友会ホームページからのテーマ募集については検討中である。

### 2) 会員に対する生涯教育の場提供の検討

大学の動画配信システムを利用して、インターネット経由で地方在住会員にも生涯教育の機会を提供できないか検討したが、動画内容の著作権の問題、薬剤師認定制度の単位取得手段等クリアすべき課題が多く、引続き検討することとした。

### 3) 年退職者、転職者の調剤薬局就業希望者への対応

就業希望者に対し、基礎知識や基礎手順の習得を支援できる方策を検討したが、研修場所の確保、研修講師の選定、就業希望者の既存知識の格差、研修費の確保等解決すべき問題が多く、現状では対応困難と判断した。

### 4) 入会員に対する特典の提供

セミナー参加1回無料券の発行等について検討したが、セミナー参加者が東京近隣の会員に限定されているため、現状では地方在住会員が恩恵を受けられないことから、他の方策を検討することとした。また、セミナー動画の無料視聴に関しては、引続き検討することとした。

### 5) セミナー参加費改定の検討

現行のセミナー参加費(3,000円)について、他大学セミナー参加費との比較、薬友会会員と他大学出身参加者との差別化等について、薬学部生涯学習委員会において継続して検討する予定である。

## C班(長光班長)：会報・ホームページ関連

### 【C班の課題】

薬友会規約第3条2.の会報の発行と薬友会ホームページ(HP)掲載事業について、その充実化、効率的活用方法等を企画・検討する。

- ・薬友会報掲載内容の充実化
- ・薬友会報のホームページ(HP)公開
- ・薬友会報配付方法の検討
- ・HP改訂の検討
- ・HPの効率的活用の検討
- ・HPのメンテナンス

### 【5年間の活動報告】

#### 1) 薬友会報掲載内容の充実化

社会で活躍している卒業生の紹介、学部主催生涯学習セミナーの開催案内、薬友会主催の定期総会・ホームカミングデイ開催案内及び報告、同期会開催報告等、会員に関する情報を適宜掲載し、会員宛て情報提供を実施した。

#### 2) 薬友会報のホームページ(HP)公開

薬友会HPにユーザー名・パスワードを必要とする「会員専用ページ」を設置し、その中に会員のみ閲覧可能なPDF化した薬友会報(但し、63号(2013年春号)以降)のライブラリーを作成した。

#### 3) 薬友会報配付方法の検討

年2回会報送付に関して、春号(3月発行)の冊子体は会員全員に配付、秋号(8月発行)の冊子体は薬友会費納入者のみに送付することとし、会費未納会員にはHPからPDFの会報で閲覧して頂くこととした。

#### 4) HP改訂の検討

HPが分かり易く閲覧、検索が効率的に行えるよう、逐次システムの改変を行った。

#### 5) HPの効率的活用の検討

- ① 「会員専用ページ」を設置し、ユーザー名・パスワードを入力して薬友会報、薬友会主催各種行事のWebアルバム等が閲覧できるようにした。
- ② 薬友会費納入手段として、「PayPal」によるWeb決済できるよう会費納入システムを構築した。
- ③ 受付返信メール「フォームメーカー」を導入して、生涯学習セミナー申込受付、

同期会参加申込受付、会員住所変更届等、Web 上での申込や問合せが可能となり、事務処理の効率化に寄与した。

- ④ 「会員専用ページ」内に新たに「卒業生同期会のページ」、「研究室同窓会のページ」、「クラブ OB/OG 会のページ」を開設し、これらの会を企画する際、準備段階から幹事自身が管理して当該会員間での情報共有や事後の画像(写真)の共有を可能とした。
- ⑤ HP のトップページにベンダーの手を借りなくても薬友会事務局担当者が編集・掲載できる「お知らせ」の項目を開設、生涯学習セミナーの中止等関係者に火急に連絡できるようにした。

#### 6) HP のメンテナンス

HP のアップデート・修正、新規システムの構築、サーバーの管理等を一本化して外部業者に委託し、薬友会内部関係者の業務負担を軽減するとともに、迅速かつ安定した HP 公開に努めた。

### D 班(澤井/池本班長)：同期会・懇親会関連

#### 【D 班の課題】

薬友会の目的である会員相互の交流及び親睦をはかる事業として、より多くの会員が参加し、その恩恵を受けられる同期会・懇親会関連行事を企画・検討する。

- ・学会後に実施している懇親会の企画・検討
- ・定期総会後の薬友会役員・代議員等の親睦会の企画・検討
- ・ホームカミングデイ(HCD)の企画・検討
- ・HCD と同時開催の同期会の企画・検討
- ・白金キャンパスに在職する会員(卒業生)の会の設立と交流の場の企画・検討
- ・地方在住会員の同窓会支部化、同期会設立の推進・援助

#### 【5 年間の活動報告】

##### 1) 学会後に実施している懇親会の企画・検討

2017 年 3 月に日本薬学会第 138 年会に合わせ金沢市で懇親会を実施したが、参加状況が芳しくなく、費用対効果を考慮して「当面中止」することとした。

その経費は確実な集客が見込める HCD と同時に開催する薬友会主導の同期会に廻し、会員相互の親睦をはかることとした。

##### 2) 定期総会後の薬友会役員・代議員等の親睦会の企画・検討

薬友会定期総会の開催が午後になった 2018 年度の総会後に、白金キャンパス内にて

懇親会を企画・開催した。56名が参加し薬友会役員・代議員相互の交流・親睦を深め意見交換する良い機会となった。2019年度総会は開催予定日が白金キャンパス薬学部校舎竣工式と重なり、午前開催となったため中止としたが、今後も午後開催の総会時には企画する予定である。

3) ホームカミングデイ(HCD)の企画・検討

2017年に第1回のHCDを開催したが、広報不足で参加者は10名に止まった。以後、薬友会の会報、ホームページ等で積極的に広報活動を実施した結果、2018年(第2回)は28名、2019年(第3回)は34名と参加者が増え徐々に周知されつつある。

4) HCDと同時開催の同期会の企画・検討

2018年に薬友会主導の卒後10年(平成20年)卒の同期会を開催し、28名の参加者があった。2019年には卒後10年(平成21年)と20年(平成11年)卒の同期会を開催し、各々13名、61名の参加者があり、薬友会の目的である会員相互の親睦をはかることができた。

5) 白金キャンパスに在職する会員(卒業生)の会の設立と交流の場の企画・検討

2018年に白金キャンパスに在職する会員が一同に会する場がなく会員相互の繋がりが弱いことから、薬友会主導で「薬友会白金会」を設立し、交流を深めるべく懇親会を開催し45名の参加を得た。2019年度の開催では44名の参加があり、当初の目的を達成しつつある。

### 13. 理事会開催

第1回：2019年 4月19日(金)

第2回：2019年 6月21日(金)

第3回：2019年 9月20日(金)

第4回：2019年 12月13日(金)

第5回：2020年 3月 6日(金) ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止対応で中止

### 14. 常任理事会開催

第1回：2019年 8月23日(金)

第2回：2019年 12月13日(金)

### 15. その他

## 【議案 2】 2019 年度北里大学薬友会決算報告書

### 2019 年度収支報告書(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

〔収入の部〕		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	増・減 (△)
前期繰越金	2,884,488	2,884,488	0
還元金 <sup>1)</sup>	7,340,000	7,340,000	0
年会費 <sup>2)</sup>	2,800,000	2,971,434	171,434
薬学部生涯学習業務受託料	3,000,000	3,000,000	0
生涯学習セミナー受講料 <sup>3)</sup>	2,400,000	2,192,000	△208,000
懇親会参加費 <sup>4)</sup>	50,000	74,000	24,000
雑収入 <sup>5)</sup>	10,000	69,320	59,320
合 計	18,484,488	18,531,242	46,754

1)還元金：2018 年度全学同窓会費納入者 276 名(2017 年度 289 名)

2)年会費：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 20 日薬友会費納入者 1,007 名(2018 年度 1,054 名)

3)生涯学習セミナー受講料(2,000 円/回)：2019 年度受講者 1,188 名(2018 年度 1,370 名)

4)懇親会参加費：卒後 10・20 年目同期会(10/26・74 名 1 千円/人 )

5)雑収入：預金利子、DM ラベル代、同期会寄附(1992 年卒同期会 16,000 円、9PP 同期会 40,760 円)

〔支出の部〕		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	増・減 (△)
総会開催費	1,100,000	1,085,248	△14,752
懇親会費	800,000	750,378	△49,622
事務局費	700,000	818,582	118,582
会議費	800,000	313,750	△486,250
会報発行費	3,900,000	3,830,694	△69,306
薬学部生涯学習業務費	5,400,000	5,156,069	△243,931
ホームページ維持管理費	700,000	497,135	△202,865
人件費	2,400,000	2,400,000	0
慶弔費	100,000	48,006	△51,994
同期会援助費	800,000	96,606	△703,394
白金祭援助費	100,000	170,000	70,000
薬友会奨励賞費	150,000	127,890	△22,110
奨学金制度費	1,000,000	1,000,000	0
予備費	534,488	0	△534,488
小 計	18,484,488	16,294,358	△2,190,130
〔次期繰越金〕		2,236,884	2,236,884
合 計	18,484,488	18,531,242	46,754

## 〔財産目録〕

2020年3月31日現在

科 目	金 額
〔定期預金〕	
定期預金(UFJ)	17,550,000
定額預金(郵貯)	7,061,163
小 計	24,611,163
〔普通預金〕	
普通預金(みずほ) <sup>1)</sup>	900,018
普通預金 I(UFJ)	2,862,839
普通預金 II(UFJ) <sup>2)</sup>	500,000
郵便貯金	190,612
小 計	4,453,469
振替口座 <sup>3)</sup>	343,835
現 金	193,144
小 計	536,979
合 計	29,601,611

1) 次期繰越積立金(2015年度：50万円、2016年度：40万円)

2) 薬学部生涯学習業務用

3) 2020年度薬友会々費(郵貯分122名分)

### 「収入の部」

- ・ 前期繰越金は、2018 年度からの繰越金である。
- ・ 還元金は、全学同窓会から前年度の全学同窓会費納入者数によって算定・給付されるが、2018 年度は 2017 年度の 289 名に対し、2019 度は 2018 年度の納入者が 276 名と少なくなったため、前年より 20.4 万円減額となっている。
- ・ 年会費は、2018 年度 1,054 名の納入(3,112,551 円)に対し 2019 年度は 1,007 名(2,971,434 円)で、約 14.1 万円の減額となっている。
- ・ 生涯学習セミナー受講料は、後期第 2 回セミナー(3/7)の中止により受講者数が前年度(1,370 名)に比し 1,188 名に止まり 2018 年度より 53.2 万円減額となっている。
- ・ 懇親会参加費は、卒後 10・20 年目同期会の参加者(74 名)が予算設定時より多かったことにより予算より 2.4 万円の増額となった。
- ・ 雑収入は、主として 1992 年卒同期会(1.6 万円)、1977 年卒 9PP 同期会(40,760 円)からの寄付によるものである。

**全体としての実績はほぼ予算額通りであった。**

### 「支出の部」決算額が予算額を超過した科目

- ・ 事務局費は、事務局使用 PC2 台の OSwindows7 及び 8 を windows10 の機種に切替えのための費用が加わったため超過した。
- ・ 白金祭援助費は、例年の援助金 30 万円を 10 万円にして計上したが、実際には援助金(5 万円)、広告料(9 万円)、ホームカミング日参加者用模擬店利用チケット購入(3 万円)を支出したため超過となった。

### 「支出の部」予算に比し実績が 50%未満であった科目

- ・ 会議費は、従来年 7 回の理事会を 2019 年度は理事会 5 回、常任理事会(人数が少なく理事会よりも経費が半分に押さえられる)2 回としたこと、第 2 回常任理事会と第 4 回理事会(12/13)を同日開催としたこと、第 5 回理事会(3/6)が新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止したことにより出費が大幅に少なくなった。
- ・ 慶弔費は、2 件のみで弔電と供花の費用である。
- ・ 同期会援助費は、5 件の申込があった通信費(切手・ハガキ代)で、薬友会主催の卒後 10・20 年目同期会の通信費は「懇親会費」に組入れた。

### 「支出の部」その他の科目

- ・ 生涯学習業務費は、学部からの生涯学習委託料 300 万円とセミナー受講料 219.2 万円の計 519.2 万円を原資としており、2019 年度は生涯学習業務費として約 515.6 万円が支出され、その差額は約 3.6 万円です。昨年 2018 年度の収支差額(約 35.0 万円)より約 31.4 万円少ないが、ほぼ計画通りの収支であった。

**全体として、「収入の部」は 18,531,242 円、「支出の部」は 16,294,358 円で、次期繰越金は 2,236,884 円となった**

【議案 3】 2019 年度北里大学薬友会監査報告書

2019 年度北里大学薬友会決算報告書を監査した結果、その正確かつ妥当なることを認める。

2020 年 5 月 8 日

北里大学 薬友会 監 事

青井廣志



沼崎洋





## 【議案 4】2020年度北里大学薬友会事業計画（案）

### 1. 懇親会関連の開催・援助

- 1) 従来の学会に合わせての開催については、年々参加者が減少しており高額な経費がかかるため当面の間中止することとした。
- 2) 今年度も[卒業生の出会いの場の創出]をテーマに掲げ、同期会、研究室同窓会、クラブ活動のOB/OG会の開催を積極的に呼び掛け援助していくこととした。また、継続的に実施されている地方での同窓会活動について引続きリサーチし、それらの地方薬友会支部化を働き掛け・援助することとした。

### 2. ホームカミングデイ・同期会の開催

ホームカミングデイは、本薬学部の理解者・支援者である会員(卒業生)の旧交を温める場として、薬学部と薬友会の共同主催であることから、規模を拡大する本年度からは薬学部にも相応の人的・経費的負担を依頼する。

#### 【第4回ホームカミングデイ(HCD)概要】

- 1) これまでの3回は白金祭開催日に実施してきたが、対象者(卒後10・20・30・40・50年目会員)に案内状を送付するも参加者が少なく、HCDの知名度と魅力が少ないことが考えられる。
- 2) 同日開催の薬友会主導同期会については卒業年度で参加者がばらつくものの、昨年の卒後20年(平成11年)目同期会で61名の参加があったように、多くの参加者が見込める。
- 3) 白金祭と同日開催にすると使用できる学内施設が限定されたが、白金キャンパス整備が完了し、250名以上の立食パーティが可能な体育館が完成した。
- 4) 以上の現状を踏まえ、2020年度のHCDを以下のように企画・実施する。

開催日程:2020年11月22日(日)14時～

・白金祭開催日を外し、地方及び働いている会員も参加できる連休中とした。

対象者:卒後10年(平成22年)、20年(平成12年)、30年(平成2年)、40年(昭和55年)、50年(昭和45年)3月卒業の会員

イベント:オープンラボ、薬学部長挨拶、薬学部の現状説明、

学祖北里柴三郎先生に関する講演会(講演者案:北里一郎先生)

[学部長挨拶・現状報告・後援会はネット配信予定]

懇親会:卒後各年度同期会を体育館で同時開催、人数多数の場合は学生食堂も利用)

広報活動:薬友会報(No.78、79)、薬友会ホームページ掲載、対象者に案内ハガキ送付、各年代のキーパーソン(代議員等)を選出し周知徹底を図る。当日パンフレット等の企業広告掲載の検討。

経費:薬友会予算、薬学部負担金、懇親会参加者負担金にて実施。

なお、全卒業生を対象としたホームカミングデイの実施については、2020年以降の結果をもって検討する。

### 3. 会報の発行

- ① 第 78 号      2020 年 8 月   部数： 2,500 部(会費納入者にのみ送付)
  - ② 第 79 号      2021 年 3 月   部数： 14,500 部(全会員に送付)
- (第 63 号(2013 年 3 月発行)以降の会報は薬友会ホームページに掲載中)

### 4. 同期会への援助

通信費(切手・はがき代)の援助、地方会員の同窓会支部・同期会の開催支援。

### 5. 薬友会情報センターの運営

- ① 会員データのメンテナンス
- ② DMラベルの打ち出し

### 6. 生涯学習セミナーの実施

◎薬学部主催・薬友会共催生涯学習セミナー(全 10 回)

#### 【2020 年度開催日程表】

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	会 場
前 期	5 月 16 日	6 月 20 日	7 月 4 日	1 号館 1501 講義室 (予定)
夏 期	7 月 18 日	8 月 1 日	-----	
中 期	9 月 5 日	9 月 26 日	10 月 17 日	
後 期	2021 年 2 月 13 日	3 月 6 日	-----	

(東京オリンピック開催期間：7 月 24 日～8 月 9 日の開催を回避して設定)

#### 【2020 年度前期】

第 1 回テーマ「AYA 世代がん医療と薬剤への期待」      2020 年 5 月 16 日(土)

講義 1：「AYA 世代がん患者から薬剤への期待」

講師： 桜井 なおみ 先生(キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表)

講義 2：「AYA 世代がんのチーム医療」

講師： 清水 千佳子 先生(国立国際医療研究センター病院がん総合診療センター 乳腺・腫瘍内科)

第 2 回テーマ「循環器疾患治療の最前線」      2020 年 6 月 20 日 (土)

講義 1：「薬剤師が解説する高血圧治療ガイドラインと降圧薬」

講師： 小林 由布子 先生(北里大学北里研究所病院 薬剤部)

講義 2：「かくれ心不全とこげつき心不全～最悪の心臓病を防ぐ、診る、癒す」

講師：猪又 孝元 先生(北里大学北里研究所病院 循環器内科 教授)

第3回テーマ「薬剤師が知っておきたいアレルギー疾患の治療と患者支援」 2020年7月4日(土)

講義1:「アトピー性皮膚炎の治療方法と治療薬」

講師：笠井 弘子 先生(北里大学北里研究所病院 皮膚科 部長)

講義2:「小児アレルギー疾患における薬剤師の関わり ～

小児アレルギーエデュケーターとして役立つ薬剤師を目指して ～」

講師：櫻井 理恵子 先生(北里大学メディカルセンター 薬剤部)

【夏期】テーマ・講師：未定

日程：第1回 7月18日(土) 第2回 8月1日(土)

【中期】テーマ・講師：未定

日程：第1回 9月5日(土) 第2回 9月26日(土) 第3回 10月17日(土)

【後期】テーマ・講師：未定

日程：第1回 2021年2月13日(土) 第2回 3月6日(土)

## 7. ホームページの維持管理

定期総会、懇親会、生涯学習セミナー等の案内・受付・報告や既刊薬友会報、各種行事の写真等を適宜掲載し、会員への情報提供を行うと共に、閲覧・検索しやすくなるよう新規システムの導入等を検討し、併せてホームページの維持管理に務める。

## 8. 薬友会奨学金制度の実施

2018年から実施された奨学金制度について、引続き実施する。

## 9. 白金祭に対する援助

第41回北里大学白金祭

日時：2020年10月24日(土)～25日(日)

場所：北里大学白金キャンパス

## 10. 準会員との交流

2020年7月及び9月

## 11. 薬友会奨励賞授与

2020年度北里大学薬学部卒業祝賀会(2021年3月22日(月)予定)にて授与。

## 12. 中長期事業計画の検討

2015年度から実施した中長期事業計画は2019年度を区切りとして終了となるが、今年度以降も継続して検討すべき課題が残っており、引続き以下の課題について検討することとした。

### A班(島村班長)：薬友会組織・理事会関連

- 1) 薬友会会費納入に関する検討
- 2) 薬友会理事会運営に関する検討
- 3) 薬友会への関心を喚起する方策の検討
- 4) 薬友会組織運営に伴う内規作成(全学同窓会代議員選出等)

### B班(三浦班長)：研修・生涯教育関連

- 1) 生涯学習セミナー「テーマ」の検討
- 2) 地方在住会員に対する生涯教育の場提供の検討
- 3) 薬友会費納入会員に対する特典の提供
- 4) セミナー参加費改定の検討

### C班(長光班長)：会報・ホームページ関連

- 1) 薬友会報の発行及び内容の充実化
- 2) ホームページの新規システムの導入、閲覧・検索しやすいシステムの構築

### D班(池本班長)：同期会・懇親会関連

- 1) 第4回ホームカミングデイの開催(2020年11月22日)
- 2) 薬学部・薬友会共同主催による同期会の開催(2020年11月22日)  
対象者：卒後10年(平成22年)、20年(平成12年)、30年(平成2年)、40年(昭和55年)、50年(昭和45年)3月卒業生
- 3) 「薬友会白金会」懇親会の開催(2020年秋)  
※ 1)及び2)の詳細はP.16を参照のこと。

## 13. その他

## 【議案 5】2020 年度北里大学薬友会予算（案）

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

### 〔収入の部〕

(単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
前期繰越金	2,236,884	
還元金	7,456,000	2019 年度全学同窓会費納入者 282 名
年会費	2,800,000	参考：2019 年度薬友会費納入者 1,007 名
薬学部生涯学習業務受託料	3,000,000	
生涯学習セミナー受講料	2,400,000	参考：2019 年度受講者 1,188 名
懇親会参加者負担金	400,000	卒後 10・20・30・40・50 年目同期会 等
雑収入	10,000	預金利子、DM ラベル代
合 計	18,302,884	

### 〔支出の部〕

(単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
総会開催費	1,100,000	2020 年 5 月 23 日(土)14:00～
懇親会費	1,300,000	卒後 10・20・30・40・50 年目同期会 等
事務局費	800,000	Web 会議システム導入
会議費	500,000	理事会・常任理事会、事業計画活動会議等
会報発行費	4,000,000	第 78 号(2020 年 8 月)、第 79 号(2021 年 3 月)
薬学部生涯学習業務費	5,400,000	生涯学習セミナー運営費用
ホームページ維持管理費	700,000	システム構築、ホームページ使用料、メンテナンス費等
人件費	2,400,000	
慶弔費	100,000	
同期会援助費	200,000	通信費補助、地方支部設立・同期会援助
白金祭援助費	140,000	白金祭(2020 年 10 月 24～25 日)
薬友会奨励賞費	150,000	卒業祝賀会(2021 年 3 月 22 日予定)
奨学金制度費	1,000,000	在校生への薬友会給付奨学金
予備費	512,884	
合 計	18,302,884	

【収入の部】

- ・「前期繰越金」は、前年(2019年)度からの繰越金である。
- ・「還元金」は、全学同窓会からの補助で前年度の全学同窓会費納入者数で算定・給付される。  
2019年度の全学同窓会費納入者は282名と前年度より3名多いため、昨年度(734万円)より若干多く給付されている。
- ・「懇親会参加者負担金」は、卒後10/20/30/40/50年目同期会参加者を200名(2,000円/名)として設定した。
- ・2020年度予算案の収入は18,302,884円となり、この財源のもとに事業活動を行うこととなる。

【支出の部】

- ・4月7日に「非常事態宣言」が発表され、新型コロナウイルス感染収束の目途が立たず、また、理事会開催も限度があり、現時点では各科目の予算額設定にその影響を反映することは難しいため、前年(2019年)度実績及び今年度事業計画案等を勘案して計上した。
- ・各支出科目の実績は、年度末に前年度との差異及び新型コロナウイルス感染影響の有無を加味して報告することとする。

## 【議案 6】 薬友会選挙管理委員の選出について

「北里大学薬友会選挙管理委員会運営規程」(添付資料参照)

### 第2条第1項

選挙管理委員の選出は、改選前年度の総会において、出席役員・代議員のなかから選出する。

今年度は改選前年度に該当し、選挙管理委員を選出しなければならないが「紙上での審議」となったため、規定通りの選挙は不可能となった。

よって、選挙管理委員の任務を薬友会事務局が代行して来年度の薬友会役員、代議員及び北里大学同窓会代議員の選出手続きを行うこととした。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度に限り、選挙管理委員の任務を薬友会事務局が代行することについて、ご承認頂きたい。</li></ul> |
|--|

## 【議案 7】 2020 年度北里大学全学同窓会及び薬友会役員

### 【全学同窓会】 敬称略

理事 成松 由紹(3PT)、岡田 年以(14PP)、池本 尚(19PT)、喜来 望(36PP)

代議員 鹿児島正豊(1PP)、西山 道久(2PT)、二村 典行(6PT)、根岸 春夫(6PT)  
藤井 則明(9PT)、厚田幸一郎(11PT)、吉山 友二(12PT)、堀口 雅巳(12PT)、  
笹嶋 政昭(14PP)、相良 眞一(14PT)、松田 佳和(15PP)、鈴木 秀人(16PP)、  
蒲谷 浩司(17PP)、島村 恵里(17PP)、中森 俊宏(18PT)、氏原 淳(19PP)、  
長尾 剛司(26PT)

北里研究所評議員 成松 由紹(3PT)

### 【薬友会】 敬称略

会長 成松 由紹(3PT)

副会長 岡田 年以(14PP)、島村 恵里(17PP)

理事 富野 絹雄(1PT)、伊藤 毅(2PT)、根岸 春夫(6PT)、厚田幸一郎(11PT)  
吉山 友二(12PT)、堀口 雅巳(12PT)、相良 眞一(14PT)、小平 久正(16PP)、  
齋藤 俊夫(16PT)、氏原 淳(19PP)、池本 尚(19PT)、清田 博己(21PT)、  
澤井 敏樹(21PT)、三浦 輝久(22PT)、関根 正恵(23PP)、長光 亨(24PT)、  
長尾 剛司(26PT)、石塚 雅彦(27PT)、川上 美好(29PP)、山本 大介(33PT)、  
関根麻理子(34PP)、喜来 望(36PP)、春日井公美(37PP)

監事 青井 広志(5PP)、沼崎 洋(9PT)

顧問 鹿児島 正豊(1PP) 松山 重雄(1PP) 針谷 義弘(1PP) 水谷 努(3PT)

※ 2020 年より再設定

( \_\_\_ : 新任)

- ・昨年度の定期総会にて薬友会内に「顧問」を置くことを承認頂いたが、2020 年度から上記 4 氏の方々の顧問就任をご承認頂きたい。
- ・顧問の 4 氏が承認された場合、現在薬友会理事の鹿児島、水谷の両氏は理事職から離れることになる。



## 新代議員の選出

新代議員：2020年3月卒業(敬称略)

### 52PP(薬学科)

伊藤 大智(いとう ひろとも)

角倉 弘太(かどくら こうた)

永野 風鳥霞(ながの ふうか)

船越 美緒(ふなこし みお)

### 11PL(生命創薬科学科)

中原 茜(なかはら あかね)

## 2020年度北里大学薬友会代議員一覧

(薬学科 敬称略)

代議員 大谷元光・矢澤勝彦(1PP)	河野光男・伊藤芳之(2PP)
堂東邦宏・砂金信義(3PP)	西川 均・高橋 進(4PP)
高橋 豊・後村 猛(5PP)	斉藤太郎・洞ヶ瀬栄子(6PP)
木村 明・江守利博(7PP)	久保木輝雄・大西龍也(8PP)
栢森裕三・清水 澄(9PP)	武部雅人・南田東彦(10PP)
久米 誠・平野由紀子(11PP)	秋山 博・宮下精一郎(12PP)
清原寛章・深町伸子(13PP)	田端大祐・笹嶋政昭(14PP)
松田佳和・丸山 剛(15PP)	鈴木秀人・中村匡宏(16PP)
蒲谷浩司・田野良夫(17PP)	上岡健人・波多野紀子(18PP)
町田 充・藤極範子(19PP)	田中久美子・田中 陽(20PP)
遠藤政彦・杉浦久仁子(21PP)	佐藤幸子・晴被直子(22PP)
井上朋子・高橋良絵(23PP)	井上智之・奈良場純子(24PP)
宮沢伸介・丸山純一(25PP)	武田典子・津端由佳里(26PP)
角 大悟・寒河江珠代(27PP)	古川尊久・山崎由紀子(28PP)
生駒 徹・茂出木耕一(29PP)	鈴木邦生・吉田康一郎(30PP)
橋口宏司・芳村峰花(31PP)	大野典子・清水目 梢(32PP)
高橋 亮・谷山和弘(33PP)	八木晃子・松澤弘志(34PP)
小林彦登・萬羽薫美子(35PP)	早崎真弘・佐野美紗子(36PP)
鈴木利幸・木村夏樹(37PP)	有川慎葉・高橋光夫(38PP)
中野貴之・柚木麻姫(39PP)	松本真澄・井本千尋(40PP)
関谷路子・餅田智行(41PP)	安澤直幸・山本啓介(42PP)
大谷和真・山崎 柚(44PP)	坪田留央依・細井智弘(44PP)
相原未希・佐川智則(45PP)	橋本健士郎・船渡聖太(45PP)
森野亜希・岸川 瞳(46PP)	西垣哲太・山田翔太(46PP)
飯野舞子・小玉智香(47PP)	豊間恵里子・山名里穂(47PP)
梅原ありさ・川村舞雪(48PP)	高橋祐里香・星 安里紗(48PP)
柿崎佑斗・佐々木貴央(49PP)	馬場 優樹・李 大葵(49PP)
青山亮太・熊埜御堂沙英(50PP)	時澤秀明・矢野真輝(50PP)
伊木祥子・坂根宏明(51PP)	比佐祐介・村山晃大(51PP)
<u>伊藤大智・角倉弘太(52PP)</u>	<u>永野風鳥霞・船越美緒(52PP)</u>

( \_\_\_ : 新任)

(製薬学科・薬科学科・生命創薬科学科 敬称略)

毛利隆明・大沢 彰(1PT)	西山道久・坂本康夫(2PT)
武田収功・吉澤芳夫(3PT)	倉澤嘉久・村瀬義之(4PT)
宮田義久・岩崎裕二(5PT)	二村典行・高橋 勇(6PT)
池田 了・三田正之(7PT)	入江英治・青野雄三(8PT)
藤井 則明・高柳 博(9PT)	坂田 修・小塚ひとみ(10PT)
松原 肇・加藤崇人(11PT)	源川良一・星野隆一(12PT)
大河原均・岩瀬一彦(13PT)	岡村信吾・塙 真也(14PT)
新井 隆・森田 豊(15PT)	阿部章夫・鈴木智美(16PT)
小瀧裕道・関根澄江(17PT)	中森俊宏・八谷恵美子(18PT)
今井庸介・長友 恵(19PT)	伊藤 靖・久保田理恵(20PT)
倉茂 了・小林敏明(21PT)	井手上圭一・片平 優(22PT)
杉木 伸・奈良場博昭(23PT)	遅澤 篤・阪柳正隆(24PT)
渡邊洋子・古籟崇紀(25PT)	池田和子・金子正美(26PT)
中島啓行・市川奈緒子(27PT)	柳原壮一郎・大島崇弘(28PT)
門脇正昌・重松朝子(29PT)	浅沼 聡・本郷守正(30PT)
亀井梨生・八木原浩子(31PT)	岸本亜希子・高石 勝(32PT)
三浦健志・宮本幸恵(33PT)	吉田泰宏・平井景子(34PT)
土田健二・陳 妍希(35PT)	福田岳夫・丸本かおり(36PT)
勅使川原智史・吉野真通(37PT)	黒田大祐・古関義隆(38PT)
齊田 瞬・大畠健二(39PT)	松永麻理・山本善也(40PT)
和田絢子・駒田沙織(41PT)	

佐藤大史(1PL)	中嶋 龍(2PL)
牧谷佳苗(3PL)	伊達 茜(4PL)
峯田浩司(5PL)	小山朋子(6PL)
池田 隼人(7PL)	小此木闘也(8PL)
大瀬 尚希(9PL)	植松まりな(10PL)
中原 茜(11PL)	

( \_\_\_\_\_ : 新任)

・2020年度薬友会代議員は、新たに今年3月卒業の新代議員5名が加わる他は交代等の変更はない。

# 北里大学薬友会規約

## 第一章 総 則

第1条(名称) 本会は北里大学同窓会薬学部会であり、北里大学薬友会と称する。

第2条(目的) 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて文化・教養の向上に資し、以って北里大学薬学部の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会はその目的を達成するために次の事業を行なう。

1. 会員相互の交流および親睦。
2. 会報の発行。
3. 講演会・講習会等の開催。
4. 準会員への支援。
5. その他、必要と認められる事業。

第4条 本会は事務局を東京都港区白金5丁目9番1号北里大学薬学部内に置く。

## 第二章 会 員

第5条 本会は次の会員で組織する。

1. 正会員       A会員 北里大学薬学部卒業生。  
                  B会員 入会を希望する北里大学大学院薬学研究科修了者。
2. 準会員       北里大学薬学部学生。
3. 特別会員   (イ) 北里大学薬学部現教職員。  
                  (ロ) 理事会で推薦した北里大学薬学部旧教職員。
4. 名誉会員   本会および学部の発展に寄与した者で理事会で推薦し、総会で承認された者。
5. 賛助会員   本会の主旨に賛成し理事会で承認した者。

第6条 本会は名誉会長および顧問を置くことができる。

- 2 名誉会長および顧問は、理事会で推薦し、総会で承認する。

### 第三章 役員

第7条 本会には次の役員を置く。

会長 1名 副会長 2名  
理事 30名以内(常任理事若干名を含む)  
監事 2名

第8条 会長は本会を代表し、会務を総べ理事会の議長となる。

- 2 副会長は会長を助け、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は理事会を組織し会の運営にあたり、常任理事は常任理事会を組織して事業の執行にあたる。
- 4 監事は会計および事業の監査を行なう。

第9条 役員を選出は次の方法による。

1. 役員は正会員より選出する。
2. 会長・副会長は理事会で推薦し総会で選任する。
3. 理事は正会員の推薦による者、ならびに理事会で推薦した者を総会で選任する。
4. 常任理事は理事会で互選する。
5. 監事は総会で選任する。

第10条 役員任期は3年とし再任することができる。

第11条 本会に職員を置くことができる。

### 第四章 会計

第12条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第13条 正会員および賛助会員は会費を納めるものとする。その金額および納入方法については別に定める。

### 第五章 会議

第14条 会議は定期総会・臨時総会・理事会および常任理事会とする。

- 2 定期総会は毎年5月中に開催し、次の事項を審議決定する。
  - 1 役員を選任。
  - 2 前年度の事業報告。
  - 3 前年度の収支決算の承認。
  - 4 当年度の事業計画。
  - 5 当年度の予算。
  - 6 その他。
- 3 臨時総会と理事会、常任理事会は必要に応じて会長が招集する。  
但し、役員または代議員の3分の1以上から要求があった場合は、会長は速やかに臨時総会を招集しなければならない。

第15条 総会の構成および運営は次の如くとする。

- 1 総会は役員および代議員を以って構成する。  
但し、会員は出席して意見を述べることができる。
- 2 代議員は各科各期の正会員の人数を考慮して人数を理事会で決定し、各科各期で推薦し、総会で選任する。代議員の任期は3年とする。
- 3 総会の開催は役員および代議員の3分の1以上の出席を必要とする。
- 4 総会の議長団は構成員より選出する。
- 5 総会の議決は出席役員および代議員の過半数による。  
但し、規約の改正は別章に定められた方法によって行なわれる。
- 6 役員および代議員が総会に出席できないときは同科、同期所属会員に代理出席を委任するか、議長に白紙委任することができる。
- 7 特に緊急を要するときは役員および代議員の書面審議を以って総会に代えることができる。

第16条 理事会は会長・副会長・理事・監事を以って構成し、常任理事会は会長・副会長・常任理事を以って構成する。

- 2 理事会および常任理事会の開催はその構成員の3分の1以上の出席を必要とする。
- 3 理事会に出席できない理事は他の理事にその権限を委任することができる。
- 4 理事会および常任理事会の議決は出席者の過半数による。

第17条 理事会は次の事項を決定する。

- 1 総会の議案に関する事項。
- 2 本会の運営上必要な細則制定に関する事項。
- 3 その他会務運営上必要な事項。

第 18 条 常任理事会は会務執行上必要な事項につき議決する。

## 第六章 支 部

第 19 条 本会は理事会の議決を経て支部を置くことができる。

## 第七章 雑 則

第 20 条 本会には選挙管理委員会を置くことができる。

## 第八章 改 正

第 21 条 規約の改正は理事会の過半数の賛成を得てこれを発議し、総会の 3 分の 2 以上の賛成を以ってなされる。

附 則 本規約は昭和 40 年 1 月 1 日より施行する。

昭和 46 年 4 月 1 日改正

昭和 55 年 5 月 20 日改正

昭和 55 年 10 月 26 日改正

昭和 60 年 12 月 4 日改正

平成 24 年 5 月 20 日改正

## 北里大学薬友会選挙管理委員会運営規程

本規定は、北里大学薬友会(以下 本会と称する)規約第 20 条に基づくものである。

第1条 選挙管理委員会は、選挙管理委員によって組織され、本会が行なう次の選挙の管理運営を行なう。

- イ. 本会の役員の改選・補充に関するもの。
- ロ. 本会の代議員の改選・補充に関するもの。
- ハ. 本会から北里大学同窓会役員への推薦に関するもの。

2 本会から北里大学同窓会代議員への推薦に関するもの。

但し、当分の間はロ. に関する選挙については、各期・各科代議員に委託して行なうものとする。

第2条 選挙管理委員の選出は、改選前年度の総会において、出席役員・代議員のなかから選出する。

2 選挙管理委員会の委員長は委員の互選により選出する。

第3条 選挙管理委員の任期は、選出時より当該年度の選挙が全て完了した時点までとする。但し、選挙管理委員会の委員長はその経過を選挙終了後の総会において報告するものとする。

第4条 選挙管理委員は当該選挙の選挙権と共に被選挙権も有する。

第5条 選挙管理委員の定員は 5 名とする。

但し、選出時において他に 5 名を順位を付して選出し、選挙管理委員が被選挙人となった場合は順次交代するものとし、任期は前任者の残任期間とする。

附 則 本規程は昭和 60 年 12 月 4 日より施行する。

昭和 61 年 6 月 13 日改正